

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成元年度～		根拠法令・例規等	備前市補助金等交付規則 備前市連合青年協議会補助金交付要綱 備前市FOS少年団補助金交付要綱
総合計画	大項目	基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり		問 合 先	担当課(室) 生涯学習課生涯学習係 係長 波多野 靖成 電話 0869-64-1841
	中項目	基本施策	02	生きがいのあるまちづくり			
	小項目	施策	02	青少年教育			
事務事業名		02	青少年活動支援事業		このシート作成に要した時間	2.0 時間	

事業の目的		備前市在住・在勤で35歳以下の青少年及び団体の指導者
対象 (誰・何に対して)	目的 (何のために)	青年協議会及びFOS少年団に補助金を交付し、その活動を支援することにより、ボランティア活動や市の行う事業への協力など、地域社会への寄与を目的とする。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)		少年期の貴重なボランティア体験を行えるFOS団員の確保と、青少年を対象とした自主活動を行う青年協議会員を確保し、市の行事への積極的参画・参加を行っていく。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績		事業の説明	優先度
目的を達成するために実施した事業	備前市青年協議会補助事業	市内における青年の資質向上を図るとともに、地域社会の発展に寄与することを目的として各種事業を行う備前市連合青年協議会に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	
	備前市FOS少年団補助事業	市内の青少年が野外交歓大会や奉仕活動等を通じて、「友情・秩序・奉仕」の精神を養うとともに、心豊かでたくましい子どもの育成を図ることを目的とした各種事業を行う備前市内のFOS少年団に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	708	567	567
	必要人員	人	0.02人	0.38人	0.32人
	必要人員人件費	千円	150	2,514	2,458
	事業費	千円	858	3,081	3,025
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	その他()	千円			
一般財源		858	3,081	3,025	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	青年・FOS団(会)員数	人	154	172	160
	対前年比	%	-	111.7%	93.0%
	活動コスト	円	708,000	567,000	567,000
	単位当たりコスト	円	4,597	3,297	3,544

事業の成果		年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
成果指標名	目標値(A)		170	170	170	170
	実績値(B)		154	172	160	到達目標値
	達成率(B/A)		90.6%	101.2%	94.12%	170
成果指標設定の考え方・式や説明						
備前市連合青年協議会会員数+日生・吉永FOS団員数。少子化のあおりで急成長は望めない面があるが、現状は維持したい。						

事務事業の評価		妥当性の評価	市民ニーズ	効率性の評価	目的達成度	市民参画度							
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	<input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	<input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E>	B
		効率性の評価										コスト	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある	<input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい	<input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である	<input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E>	C	
		目的達成度	市民参画度	市民参画度	市民参画度								
目的達成度	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である	<input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである	<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している	<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E>	C		

留意事項の目的やその数値目標を達成するための結果指標

進行年度(H22年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明									
青年協議会は団(会)員の減少と事業の停滞が見受けられたが、成人式では来賓あいさつ・新成人受付など欠かせない存在でもあり、前年度活動実績に照らし合わせ2.0%減額とした。県下では減少・消滅する団(会)が多い中、備前市は活動を維持しており、若者の代表としての価値は高い。									

総合評価	市における青少年活動の参加窓口として機能しており、FOSは少年期におけるボランティア参加、青年は青少年を対象とした事業を企画運営、または市主催行事へのボランティア参加など貢献度は高いものがある。課題は両団体とも少子化と青年層におけるニーズの多様化などにより、会員数の増加が望みにくいことであるが、引き続き「指導」が必要な団体である。	評価区分 <A-E>	C	妥当性 C 効率性
------	--	---------------	---	-----------------

平成23年度の方向性及び取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標									
青年は指導・助言を加えながら存続を図るが、事業に応じた予算配分を図る。FOSは県・備前地区(教育事務所)共に行政が積極的関与をしており、今年度も地域公民館の応援をいただきながら運営する。									